

令和 3 年 9 月 2 1 日

厚生委員会資料

病院事業局

〔報告事項〕

目 次

1 富山市立富山まちなか病院でのぼや発生について	1 頁
--------------------------------	-----

富山市立富山まちなか病院でのぼや発生について

[総務医事課]

9月18日（土）発生の富山市立富山まちなか病院でのぼや発生について報告するもの。

1. 当日の経過

- 10時30分 定時巡回中の警備員が、注射薬を保管している製剤室（建物1階西側）のドアから廊下に煙が出ているのを発見し、ドアを開ける。
- 10時33分 1階廊下の煙感知器が反応して警報ベルが鳴りだし、煙が廊下に充満し始めたため、職員は患者さん等の避難を開始し、警備員は消防へ通報した。
- 11時17分 鎮火

2. 出火原因

消防及び警察の実況見分の結果、消防からは「放火など人為的要因や電気系統からの出火ではなく、焼損物の自然発火等を含め原因調査を継続する。」、また警察からは、「監視カメラの記録内容から不審者の出入りもなく事件性は無い。」との見解を受けた。

3. 対応状況

当日10時30分以降、患者さんが入院されている病棟（建物3階）には煙は上がっていなかったが、病棟スタッフは、入院患者（30人）のうち、歩行可能な方は屋外に誘導し、また、歩行が困難な方は3階東側非常口付近に移動させた。

鎮火後、避難していた入院患者全員は病室に戻り、医師、看護師等による診察の結果、健康被害はなく、全ご家族に状況と謝罪の意をお伝えした。また、院長が、9月18日中に近隣及び町内会、自治振興会へお詫びの挨拶を行った。

なお、事態急変に備え、3連休中、総務医事課職員を24時間、交代待機させた。

4. 被害状況

職員等（12人）に被害はなかったが、薬品棚の焦げ付き、パソコン4台・プリンター3台損傷、薬剤ケースへの煤の付着が発生した。

5. 病院運営

診療に必要な薬剤の在庫数には影響はないことから、外来・入院診療のほか、新型コロナウイルスワクチン接種業務は通常通り行う。

6. 今後の対応

患者さんの避難は普段の訓練に従って対応できたが、今回を教訓に、今後一層訓練に励み、患者さんの安全確保に全力で取り組むとともに、こうした事案が二度と起こらないよう消防当局からの指導を仰ぐとともに、院内諸室の管理徹底に努める。